

平成26年7月7日(月)

平成26年度第1回

「先進的 ICT利活用教育推進事業」成果発表会

ICT利活用教育の現状と今後(2)

武雄市教育委員会

教育長 浦 郷 究

発言の骨子

0 市町教育長会の立場から

CT教育の歩みと現状【武雄市】

(経緯・スマイル学習・検証 等)

CT教育の取組で見えてきたこと

(児童生徒・教師・保護者・地域)

これからの見通しと課題

0 市町教育長会の立場から

1 佐賀県 CT利活用教育推進協議会 平成23年度から年1～3回

「先進的 CT利活用教育推進事業」の
取組状況について県からの説明

市町の状況と課題等について情報交換

0 市町教育長会の立場から

2 県 CT利活用推進協議会での論議から

教育長として、県の施策との一体感を高める

CT利活用教育への理解を深める

整備のあり方について、県市町のいろんな手立てを知る

最も大きな課題は財政的な問題である。

- ・ 交付金措置は ICT教育環境整備に結びつきにくい状況がある。

現状として、かなりの違いが見られる

0 市町教育長会の立場から

2 県市町教育長会要望書から

CT教育支援員の配置を希望

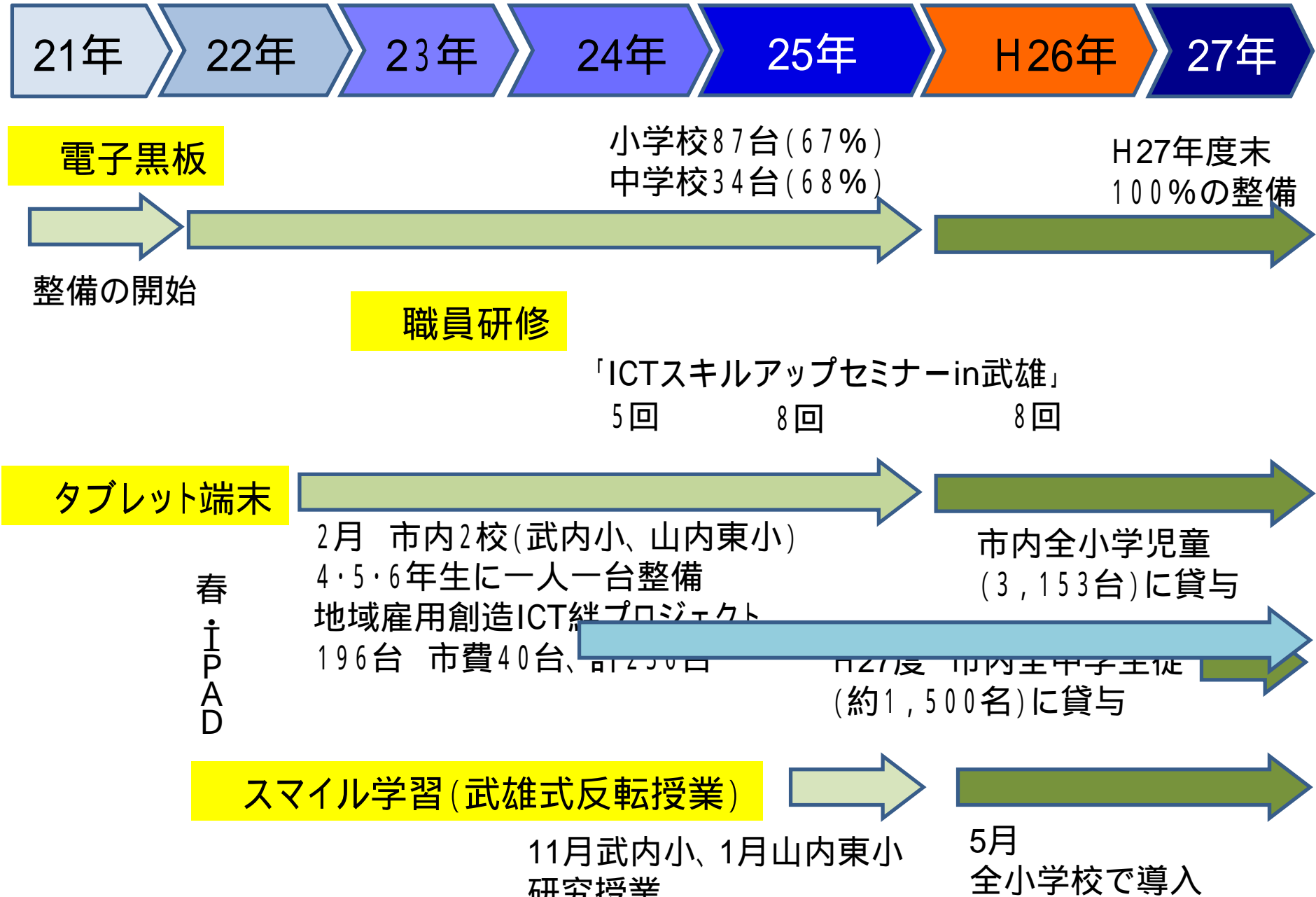
【回答】

- ・ すべての教職員の資質向上
- ・ 情報化推進リーダーの育成
- ・ 全国1位の意識調査結果
- ・ CT教育支援員の目的は達成
- ・ 各市町での配置を

CT教育の歩みと現状【武雄市】

- 1 CT教育環境整備進展のポイント
- 2 スマイル学習（武雄型反転授業）
- 3 タブレット端末配布で生じる可能性

これまでのICT機器の整備状況



- 1 CT教育環境整備進展のポイント

- (1) 県・国の推進施策**
- (2) 首長の積極姿勢**
- (3) 議会他市民の支援**
- (4) 教職員の努力**
- (5) 大学・企業などの積極的な支援**

- 2 スマイル学習(概要)

- (1) 算数(3年以上)理科(4年以上)で実施
- (2) 1単元の中で有効と思われる3~4時間
- (3) 各学校で単元を分担しコンテンツ作成
- (4) 民間提携企業とのやり取りを通して作成
- (5) ほぼ全員の児童が予習してくる状況
- (6) C-Learningと連動し、完全習得への挑戦

- 2 スマイル学習(意義)

- (1) 端末導入を目的化しない意識
- (2) 家庭学習・生活習慣と授業との連環
- (3) 将来に生きる「学習生活」の獲得
- (4) 家族や地域につながる学び
- (5) コンテンツ作成 = 教材研究・学校間交流

- 3 タブレット端末配布で生じる可能性

(1) スマイル学習以外での活用

「スーパー食育スクール」事業予定(若木小)

- ・ 食生活を統計化することにより、食と健康・食と体力等について自己管理能力を高める

プログラミング教育(山内西小)

- ・ 小学校1年生対象に創造力・思考力などの向上を目指す
- ・ 「ゲームに埋没しない」可能性

CT教育の取組で見えてきたこと

- 1 学習指導上
- 2 機器整備について
- 3 その他

CT教育の取組で見えてきたこと

1 学習指導上

児童生徒は抵抗少ない機器操作
高い学習意欲・学びの主体化
授業構造の変化

- (例) ・ 評価の効率化や対処
・ 交流活動の充実

教材研究の深化

教職員の操作力

- (例) 「スキルアップ・セミナー」

CT教育の取組で見えてきたこと

2 機器整備について

高まる機能性

日進月歩への対応

低価格化・補助等への期待

「民間企業」との節度ある有効な関係

これからの見通しと課題

- 1 スマイル学習(反転授業武雄バージョン)
- 2 タブレット端末の個人所持による可能性
- 3 検証を通じた見直しや改善
- 4 学力向上への長・短期的検証
- 5 著作権等の理解と対応

5 教育課題への積極的対応

『県の基本方針』から

次代のニーズに対応した教育の推進

整備・実証研究・人材育成・新システムの
構築

市町や国・大学・企業との連携

SE-Netの運用及び機能の充実

遠隔授業の実証研究

情報化推進リーダーを中心とした校内研修の充実

情報モラル教育の充実